

映像	内容
タイトル VTR	オープニングタイトル
スタジオ	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。</p> <p>廣川： 廣川陽子です。 田村さん、ハッピーバースデー！！</p> <p>田村： ありがとうございます。</p> <p>廣川： 9月3日で40歳になったという事で。</p> <p>田村： そうです！なりました！</p> <p>廣川： どうですか？心境は？</p> <p>田村： やっと大人になったな、というか、20歳で成人して大人っていうのが ありますけど、40になってやっと社会のこといろいろ分かってきて 思い通りにいけへんこといっぱい経験して、やっと大人になったな という感じの年になってきましたね。</p> <p>廣川： 40代がスタートしたわけですけど、目標とかありますか？</p> <p>田村： 一応、3年以内に年収1億にしようと思って頑張ってます。</p> <p>廣川： ・・・(笑)</p> <p>田村： 絶句。</p>

廣川：

楽しみにしてます。その暁には、何か…。

田村：

一億いったらね、何でも買ってあげます。車ぐらいなら買ってあげます。

廣川：

え！すごい！ またちょっと違う感じになってきましたけどね。

田村：

嫌な感じで。

廣川：

車買ってもらうとなるとね。

田村：

「車買ってあげるよ～」っていう。

廣川：

怪しい（笑）

この先の40代も幸せいっぱいになるように私もお祈りしてます。

田村：

ありがとうございます。頑張ります。

廣川：

それでは、特集にまいりましょう。今回のテーマは、私たちの身近に  
ありながら、普段あまり意識することがない「木」についてです。

田村：

木？ 木特集？ すごいね。

廣川：

吹田の木を守ろうと20年以上活動されている方達を取材しました。

田村：

そんな方がいるんや。

廣川：

ご覧ください。

VTR

### レポーター顔出し

いや～、暑い日は木陰に限るよな～。この爽やかな風が・・・  
あっ！すいません。木陰の似合う男、爽やか伊藤さとるです。  
さて、皆さんは暑い日、通勤・通学の時に木陰を選んで歩いたりしませんか？  
しますよねえ？  
ということで今回は、この陰を作ってくれる「木」を調査したいと思います。

### ナレーション

住んでいる町のお店や家がある日無くなったらすぐ気付きますよね。  
でも、毎日見ているのにその変化に気付きにくいのが「木」。  
去年の台風で多くの木が倒れたり折れたりしたのは記憶に新しいと  
思いますが、身近にありながらよほどのことがない限り、関心が薄れがち  
ですよね。  
実は、吹田市にはそんな木の変化を20年間にわたって調査している方達が  
いるんです。

### タイトル「大木に親しもう」

伊藤：

この辺で木の実態調査を行っている方がおられるということなんですが、  
あの木のあたりで何か作業をしてますよね？  
こんにちは。すいません、おじゃまします  
ここで何の作業をされているんですか？

平さん：

吹田市内の自然環境の1つとして、大きな木がないかということ  
を調べています。

### ナレーション

この方は、吹田市民環境会議の平（ひら）さん。こちらの団体では、  
20年間にわたり吹田市内に生育する大木を調査しているんです。

伊藤：

大きな木を調査してらっしゃるんですよね？  
それは何のためにするんですか？

平さん：

吹田市内も開発がどんどん進んでますから、自然が少なくなっている  
と思っているわけですけど、その記録としてこれを残しておきたいと  
いうことで、これまで1997年、それから2007年、2017年の  
3回調べさせていただいているんですよ。

### ナレーション

なぜ大木が重要かとお思いのみなさん、実は市街地で大木は1本で400～500㎡の地表面を覆い、ヒートアイランド現象を抑制させているんです。また鳥の飛来や昆虫の生息など生態系の保持にも大切な役割を果たしているんですよ。

伊藤：

じゃあ、僕もその作業を手伝っていいですか？

平さん：

どうぞどうぞ、やってください。

伊藤：

わかりました。

### ナレーション

ということで、伊藤さんは千里南公園のシンボルツリーになっているユーカリの木の調査を手伝うことになりました。

伊藤：

じゃあ、まず何からしたらいいですか？

平さん：

幹回りが2m以上あるかどうかというのが合格ラインにしていますので、まず2m以上あるかどうか。  
その場合に高さが1m30cmのところ、ここで測ります。

### ナレーション

大木の条件は、地上130cm地点の幹回りが200cm以上。  
まずは、条件を満たすかどうかを計測します

伊藤：

おお！結構これは大きいですね。  
回してきて、これは2m99cmとかありますね。これは大きい木？

平さん：

大きい木ということで、合格ということで。

伊藤：

合格！

平さん：

まあ2m以上あるということがわかったので、今度は木の高さを測ります。

伊藤：

高さを測る？ 高さって これ、登っていくんですか？  
どうやって測るんですか？

平さん：

地上の距離を測っというて、そして向こうから角度を測るんです。

伊藤：

はあ。

### ナレーション

とりあえず、言われるがまま距離を測る伊藤さんですが、一体どうやって測るんでしょう？

伊藤：

ここが30mです。ここに立つわけですか？

平さん：

ここに立って、あそこの一番上を見るわけです。

### ナレーション

そう！

これは学校を卒業してからほとんどの人が使うことのなかったであろう三角関数で計測するんです。

木からの距離と木の先端を見上げた時の角度を使って高さを割り出します

平さん：

ここからこのポイントで、あの一番高いところ覗く。  
一番上だと思うところへ。

伊藤：

合わせました。そして、これを固定する感じで、ドン！

平さん：

そしたら、これが30mの距離を測ってますから、ここでもう30mを超えてるよということで、32mありますよという。そういう感じなんです。

伊藤：

32mもあるんですか！これ、わかりやすいな～。

平さん：

これは私どもの会員の手作り。

伊藤：

すごいですね！

平さん：

これ非常に便利にしてたんです。

ところが、精度が1m前後しかありませんので、もうちょっと精度があがらんかということで、ちょっと最近のレーザーで・・・。

伊藤：

なにこれ！めちゃめちゃハイテクなやつあるじゃないですか！

ちなみにこれ32mぐらいですけど、これでは何mぐらいですか？

平さん：

これで30.5ぐらいです

伊藤：

ほとんど変わらないですね、誤差は。

### ナレーション

高さを調べた後はGPSで木の正確な場所を測定し、現在の状態の写真を撮影します。この日計測したデータは大木データシートに記入し、今後どのように成長していくのかを見守っていくんだそうです。

伊藤：

調査しました。ありがとうございます。

### ナレーション

今回の計測結果がこちら。10年後の変化が楽しみです。

伊藤：

これを元にして次のときの調査の参考にするんですか？

平さん：

そういうことですね。だから、これを残しておく形になりますね。

### ナレーション

こうした記録の積み重ねで出来上がったのが、こちらのマップ。  
大きな公園や緑地帯が多い吹田市北部に大木が分布しているのがわかります。  
また、3回の調査で大木が増えている変化にも気付くことができます。

伊藤：

先ほどのような手間のかかる作業を市内全域でやられたんですか？

平さん：

全域でやってますね。

伊藤：

1本1本？

平さん：

1チーム5人から7人ぐらいで70回やりました。

伊藤：

70回！？

平さん：

はい。73回ですね、実際には。

伊藤：

へー！それだけの回数を。

平さん：

1年間フルです

伊藤：

結果はどうだったんですか？

平さん：

結果は、1997年は420本、2007年が928本、  
で今回は2017年に1710本。

伊藤：

1710本！めっちゃ増えてますね。

平さん：  
めっちゃ増えてます。

### ナレーション

10年おきに3回にわたり調査した結果、1997年度の調査で420本だった大木が、2007年度には928本に増え、2017年度には1710本と当初の約4倍に増えていました。これは1970年の大阪万博の際に植樹されたものや、当初緑化対策のために植えられたものが成長したものと考えられていて、主に万博記念公園や関西大学など管理の行き届いた場所に多く生育しているんです。

その中でも吹田市NO1の大木がこちら。

伊藤：  
これは平さん、大きい木ですね。

平さん：  
大きい木でしょ。これは吹田市ではNo1！押しも押されぬ横綱です。

伊藤：  
これは何の木なんですか？

平さん：  
クスノキですね。

伊藤：  
太さなんですけど、どれぐらいあるんですか？

平さん：  
この間測った時には479cm。

伊藤：  
もう5mいくぐらいの、めちゃめちゃ大きいですね。

平さん：  
直径1.5mはありますね。

伊藤：  
この木はおいくつぐらいなんですか？

平さん：

明治初年ですから150年は超えていますね。

伊藤：

そうなんですか！すごいなあ。

### ナレーション

ここで、この家の住人の方にクスノキにまつわるお話を伺いました。

福田さん：

この近くに吹田第一小学校ってのがありますが、そちらの方を建設する時に根っこが出てきてクスノキの根が伸びているということがわかって、根っこがどこまで今も伸びているのか…。

伊藤：

だって2本ぐらい先の道の向こうですよ？ 小学校って。

福田さん：

そうそう。

伊藤：

ですよ？ これはずっと残していこうと思われてます？

福田さん：

そうですね。こんなもん切ったらバチがあたりと思いますんで。これだけ立派な木がこの家にあるということは誇りですから。末代まで維持していこうかと思ってます。

### ナレーション

吹田 No1 大木は明治から5つの時代を生き続ける逞しいクスノキでした。

この他の吹田の大木ランキングは、こちら！

2位～4位にランクインしたのは関西大学のキャンパス内のクスノキ。

こちらのクスノキはなんと幹が9本に分かれているんですよ。

樹種別のランキングはこちら。

あなたの街の木が入っていませんか？ 是非実物を見に行ってくださいね。

伊藤：

今日は大木にまつわる調査をさせていただいたりお話をお伺いしたんですが、これからはどのような活動をしていきたいと考えていらっしゃいますか？

平さん：

吹田市にこういった木があるということがわかっていますので、その木をこれからどうやって今のままで残して行くかというふうなことを、いろいろ検討していきたいと思っていますんですけどね。

木を知ってもらおうということでは、例えば観察会をいろいろやって「この木はこうですよ」ということをみんなに知ってもらおうことが一つの入り口かなと思っています。

伊藤：

人と木の関係がずっと友達でいい関係でいてほしいですね。

平さん：

そうですね。

伊藤：

これからもいろいろ頑張ってください！

平さん：

はい。ありがとうございました。

田村：  
面白い。

廣川：  
大きかったですね。

田村：  
でかかったねー。すごいね。しかも、人んちにあるんやね、No.1は。

廣川  
幹の大きさも5m 近かったですもんね。

田村：  
高さはそうでもなかったですけどね。  
15m でしたから千里南公園の木の方が高いですけど、それでも木の種類によるから、いろいろあるんでしょうけど。面白いですね。  
No.1 大木が何処にあるんかとか知って、巡りたいですね。  
関大は入れるのかどうか分からへんけど、関大生も誇らしいでしょうね。

廣川：  
平さんもカワセミのロケでお世話になった…。

田村：  
そうですよ。平さんですよ。平さん、めっちゃ忙しいやん。

廣川：  
73回に亘って計測されてるということですもんね。

田村：  
連動はしてるんでしょうね。鳥のことと木のことと同時に調べて。  
たぶんですけど、一緒に調べてたら、木のことやってるのに、平さん、ついつい鳥見たりとかしてるんでしょうね。

廣川：  
してるかもしれませんね。

田村：  
あとの4人も両方とも好きそうな4人でしたけどね。

廣川：

手作りの計測器もすごかったですね。

田村：

アナログながらも、確かに。そこからのレーザーへの発展ね。

廣川：

あるんかい！ってね。

田村：

ドローンで撮影とかしてほしいですね。

廣川：

いいですね。

田村：

GPSまで付けてね。マップがすごいじゃないですか。  
俺も観察されてないかな。

廣川：

吹田の大木として。

田村：

ちょっと小さいかな。

廣川：

これからも見守っていきましょう。

田村：

木に注目しましょう。

廣川：

以上、特集でした。

VTR③\_ワンポイント手話（1分）

## 田村裕のすい散歩

VTR

田村：

さあ、ということで今回は北千里駅の方に来ております。

9月はなんと「歯チカラ探究月間」ということで、  
歯にちなんで「歯を食いしばってがんばった事」というのを、  
みなさんに聞いてまわりたいと思っています。

「歯を食いしばってがんばった事」は、漫才を主に頑張っているんですけど  
基本、漫才はネタを何パターンかの種類で回してるんです。

そんな中、川島君が悪戯心に火がついた時に突然、最近やってないネタを  
放り込んでくることあるんですよ。覚えてるかどうかギリギリのやつを  
突然放り込んでくる時は、歯を食いしばって頑張ってます。

田村：

こんな暑い時に、こんなセーターで大丈夫ですか？

女性1：

着るもの無いから。

田村：

またまた。今、みんなにこれを聞いて回ってまして…、

女性1：

私や。

田村：

「歯を食いしばって頑張ったことは？」、私？ まさにですか？  
何があったんですか？

女性1

今まで、この歳になるまで、これと同じ。

田村：

人生？

女性1：

うん。

田村：

何を一番歯を食いしばってますか？

女性1：

お金やな。どうやったら締まっていけるか。

田村：

お金はね、みんな苦しいですよ。

女性1：

分けてほしいわ。

田村：

生活を頑張っていると。

女性1：

年金1人はしんどいで。

田村：

そうですか。これはリアルな…。

女性1：

夫婦2人おるんやったら、なんとなく助け合えるけど、  
1人になったら半分になるんじゃなく、もっと減るから。

田村：

そうなんですか？ 単純計算で半分じゃないんですか？

女性1：

ならない。

田村：

なんでもっと減るんですか？

女性1：

それは国に聞いてください。

田村：

吹田市民ですか？ どちらに？

女性2：

すぐそこです。

田村：

この辺ですか。いいですね。

女性2：

この間、水かけてもらいました。

田村：

そうですか。吹田スプラッシュパーティに？

女性2：

はい、そうです。

田村：

そうでしたか。ありがとうございます。僕、かけました？

女性2：

かけてもらいました。

田村：

ムカつきました？

女性2：

全然。こうやって呼んだんで。

田村：

ありがとうございます。「歯を食いしばってがんばったことは？」という質問をしてまして、何か最近、歯を食いしばってがんばったこと。

女性2：

この暑さの中で子どもの抱っこですかね。

田村：

子ども、熱いからね。すごいよね、子どもの体温の高さって。

女性2：

湯気出てますね。

田村：

湯気出てるよね、ホンマに。猛暑の中は厳しいですよ。

これから迎えに行って、歩いてくれたらいいのに「抱っこして」って言われて。

女性2：

そうです。寄り道されて、日焼けして。

田村：

日焼けしたくないのに。

女性2：

本当にそうだと思います。

田村：

何歳？

学生1：

14です。

田村：

中学2年生？

学生1：

3年生です。

田村：

じゃあ、受験やん、みんな。誰が一番賢いの？

学生1：

はい。

学生2：

いや、そうとも限らん。自分は…。

学生1：

それはない！

田村：

中学3年生の皆さんにお聞きしたいんですけど、  
「歯を食いしばって頑張ったこと」何かありますか？ 今までで。

学生2：

じゃあ、部活で。

田村：

何をやってるの？

学生2：

バレー部です。キャプテンだったんで頑張りました。

田村：

じゃあ、チームをまとめあげるために、どんな努力をしましたか？

学生2：

声を出す。雰囲気作りをする。・・・、声を出すこと。

田村：

雰囲気を声で挟んできた！どんな声かけをしたんですか？

学生2：

「ここ1本あげよ～」って、してました。。

田村：

可愛いな。そういうのを積極的に声に出してやるの大事やな。

田村：

聞きたいことあります。

「歯を食いしばってがんばったこと」何かありますか？

女性3：

難しい。あまり歯を食いしばってがんばったことがないんですけど。

田村：

のらりくらりと生きてる？

女性3：

のらりくらりと生きてる。

田村：

一番頑張ってるのは？

女性3：

「ポケモンGO」してます。

田村：

ポケモンしてたん？

女性3：

今ここでバトルしてて。

田村：

あ、そうなん。

田村：

何か出るの？

女性3：

出ましたよ。

田村：

何が出るの？…俺の方が珍しいやろ！ポケモンより。

女性3：

田村さんが喋ってる間、ポケモンしてました。

田村：

絶対、俺の方が珍しいって。ポケモンの出現率より。  
俺のこと見てよ。

女性3：

見ます、見ます。チャンネル登録します。

田村：

吹田市民の方ですか？

女性4：

はい。

田村：

J:COMで僕、番組やってるんですけど、見たことありますか？

女性4：

いつも外で遊び回ってるので…、すみません。

田村：

「歯を食いしばって頑張ったことは？」というのを聞いてまして、

女性4：

歯を食いしばる癖があって、いつも肩が凝るんですね。

女性4：

それで病院に行ったら、「とにかく歯を食いしばらないように」って。それから冷蔵庫にも「歯を食いしばらない」って書いて、そしたら肩が凝らないからっていうので、食いしばらないように頑張ってます。ごめんね。

田村：

めっちゃ良い答えなんですけどね。あのね、慣用句なんです。本当の歯の食いしばりのことを聞いているんじゃないで。

女性4：

分かるけど。大阪はそんなんやん。私、大阪人じゃないけど。

田村：

なんで全部ひっくるめるんですか、自分のことを。大阪を代表しないでください、勝手に。

女性4：

さして。

田村：

じゃあ、歯を食いしばらないことを、歯を食いしばって頑張ってください。ありがとうございます。じゃあ、肩凝らないようにね。

女性4：

ごめんね。

田村：

すいません。お時間いただきまして。ありがとうございます。

スタジオ

田村：

続いては、吹田の出来事などをご紹介します「吹田のトピックス」です。

廣川：

今回は2つの話題をご紹介します。

### 廣川 ナレーション

8月18日と19日の2日間、青少年クリエイティブセンター運動広場「光のひろば」で「サマーフェスタ in きしべ」が開催されました。

これは差別のない人権尊重の地域社会づくりを目指して、毎年この時期に開催されているもので、会場では地域の歴史を学ぶことができるパネル展示や、吹田市が取り組む「Wリボンプロジェクト」の啓発が行われていました。

2日目の冒頭には、副実行委員長の田村尚俊（たむら・ひさとし）さんが、「岸部地域から多くの情報を吹田市に発信し、より良い社会を創りあげていきたい」と挨拶。その後、後藤圭二市長、吉瀬武司（よしせたけし）市議会議長が挨拶しました。

ステージでは、天童よしみそっくりさんの藤田紀江さんなど3組が歌を披露し、フェスタを盛り上げていました。

また、ファンキー矢沢さんやぬまっちさん、君島遼（きみしま・りょう）さんらによる「ものまねオンステージ」もおこなわれ、来場者は笑いと感動のプロのステージを楽しんでいました。

そして、最後は盆踊りが行われ、音羽家清丸（おとわや・きよしまる）一行が奏でる音頭に合わせて、参加者が楽しく踊っていました。

### 廣川 ナレーション

9月1日、千里北公園で「知る・考える・動く」をテーマに、地域防災総合訓練がおこなわれました。

この訓練は、上町断層を震源とするマグニチュード7.5の直下型地震が発生し、市全域で様々な被害が発生したとの想定で実施。行政機関や地域団体、吹田市と災害時応援協定を締結している事業者・団体など、およそ50団体が参加しました。

訓練では、土嚢をいろいろな形に積み上げて氾濫を防ぐ訓練や、破損したガス管の交換や、電力の復旧をおこなうライフライン復旧訓練。

物資応援協定締結団体や自治会などが連携して、調達したパンや飲み物などの救援物資をバケツリレー方式で避難所へ搬送するといった食料供給・給水訓練などがおこなわれました。

また、崩落した高架道路、車両、倒壊建物から複数の人たちを救出した後、トリアージをおこなって応急処置をする訓練や、災害により発生した大規模な火災を消火する訓練がおこなわれるなど、参加機関が日頃の訓練の成果を披露しました。

そして展示ブースでは23のブースが出展して、防災グッズがもらえるスタンプラリーを開催。参加者は各ブースで「知る・考える」防災クイズや「動く」体験をしてスタンプを集めながら、防災意識を高めていました。

田村：  
面白いね。ドローンも飛んでたしね。ドローン（土嚢）も積んでたしね。

廣川：  
え？

田村：  
ドローン……。おっさんやね、40になるとね。

廣川：  
以上、吹田のトピックスでした。

田村：  
というわけで、エンディングでございますけども、  
なんと廣川さんが今回で最後ということでございます。

廣川：  
スタジオが最後になります。

田村：  
あ、そうですね。  
今までどおりレポートをしていただくこともあると思いますが、  
藤井さんが戻ってくるということですね。

廣川：  
そうなんです。藤井さんが産休で、  
今年の4月から半年間ピンチヒッターを務めさせていただきました。

田村：  
半年間、藤井さんが戻ってこないことを祈り続けたのに…。

廣川：  
そんなことはないです。やめてくださいよ。仲良しなので。

田村：  
どうでしたか？半年間やって。

廣川：  
田村さんとエキスポシティに行ったり、パナスタにも応援に行ったり  
しましたし、ここでパンを食べたりとか。

田村：

ありましたね。

廣川：

あと「すいたんを探せ！」ですよ。

毎回スタッフさんがすごく工夫をされて、いろんなところに隠れていたり  
定位置だったりもしましたけど。

田村：

そうですね。定位置もありましたね。

廣川：

また今後も、すいたんを探していただきたいなと思います。

田村：

廣川さんも探してくださいね。オンエア見て。

廣川：

分かりました。だいたい傾向は分かってるので。

田村：

だいたい定位置があるからね。

またレポートもそうですけど、スタジオにも時々遊びに来てもらったり

（パンの特集なら）パンを持ってくる係とかで「遊びに来ましたー」って  
来てくださいよ。

廣川：

分かりました。ぜひぜひお願いします。

田村：

せっかくパナスタ行って、僕もこれからガンバ観ていきたいなと思ったから  
いろいろ教えてほしかったんですけど、残念ですね。

またガンバは一緒に行きましょう。

廣川：

行きましょう。ぜひお願いします。

田村：

絶対行かへんやん。なんか嘘っぽいねんな。

廣川：

なんでかなー。嘘っぽいんかなー。

田村：

ぜひパナスタでお会いしましょう。

廣川：

はい。お願いします。

田村：

廣川さん、お疲れ様でした。

それではまた次回お会いしましょう。さようなら。

藤井さん、待ってまーす。